

地域ケア会議 NEWS☆LETTER

発行：小諸市地域ケア推進会議事務局（小諸市高齢福祉課・小諸市地域包括支援センター）

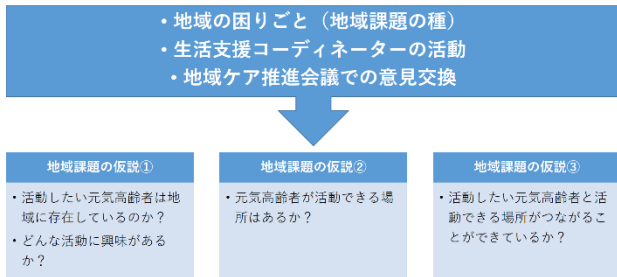
令和4年度 第4回

地域ケア推進会議を開催！

令和5年2月21日に今年度最後の地域ケア推進会議を開催しました。今回は、「身寄りのない住民の身元保証の取り組み」として、「役割分担シート・事前指示書」の市内での本格的な活用開始についての説明と、「地域の担い手」について進捗状況を報告し、意見交換を行いました。

「地域の担い手」について

「地域の担い手」をキーワードについて、これまで提出のあった地域の困りごとや、生活支援コーディネーターの活動、地域ケア推進会議での意見交換により、以下の図の通り、「地域課題の仮説」を3つに整理しました。



そして、この仮説に基づき、生活支援コーディネーターが、市内ボランティア団体などに聞き取り調査等をした結果、活動したい元気高齢者が地域に存在していること、元気高齢者が活動できる場所があることが明らかとなりました。また、活動する上で、下記の図にあるような効果があることが分かりました。



地域の担い手として活動する中で、当事者たちが感じている「地域の担い手として活動することで得られる良い効果」を地域に広く伝えること、そして活動できる場所を知らせることが必要ではないかと考えました。また、それらの情報を届ける相手を「定年等により退職した元気高齢者」としました。

働きかける元気高齢者
☑定年等により退職した元気高齢者

- 定年等により退職した高齢者に、「地域の担い手」についての情報が届くことを目指したい

併せて、「地域の担い手」における「地域課題」と「目指す地域の姿」を以下の通りに整理しました。

地域課題

- 活動したい・活動できる元気高齢者に、「地域の担い手」となることによる良い効果が、十分に届いていないため、元気高齢者と元気高齢者が活動できる場所が十分につながることができていない。

目指す地域の姿

- 元気高齢者が「地域の担い手」となって地域の様々な場所で活躍することで、「有用感」「居場所」「介護予防」等の良い効果を得て、高齢者がいきいきと高齢期を過ごすことのできる小諸市

○今後の取り組みについて○

取り組みその1：以下の内容を含んだチラシの作成

①地域の担い手として地域で活躍することの効果

②地域の担い手となる場の相談先の案内

③実際に地域の担い手として活躍している方の声

取り組みその2：チラシの配布先、チラシの内容を説明できる場の検討

「身寄りのない住民の身元保証」の取り組みとして、

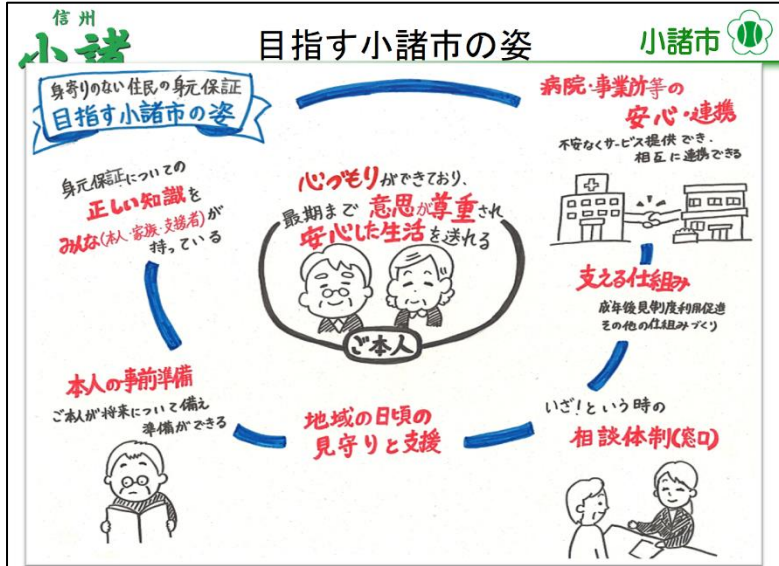
「小諸市版役割分担シート(施設)・事前指示書」の本格的な活用を開始します！！

平成30年度から、地域ケア推進会議で検討を重ねてきた「小諸市版役割分担シート(施設)・事前指示書」がついに、本格的な活用を開始します。

すでに様々な事業所や病院で活用されており、「身寄りのない人の支援を関係者みんなで取り組むことができている。」等の意見が届いています。

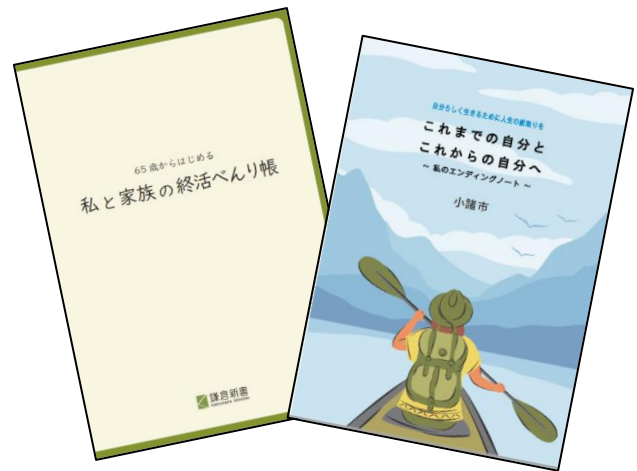
これから、さらに広く活用がされていくことで、身寄りがなくても安心した地域生活を送ることができる小諸市を目指していきたいと思えます。

令和5年4月25日(火)に、市内の事業所さん向けの「役割分担シート・事前指示書活用研修」を行います！興味のある方は、小諸市高齢福祉課地域ケア推進係までお問い合わせください。



☆㈱鎌倉新書と「終活支援協定」を締結しました☆

市の窓口や地域で、「自分には家族がいないから老後が不安。」「疎遠な親族に迷惑をかけたくない。」等の困りごとが寄せられています。このため、市民の皆さまが長くなった高齢期を、希望をもって前向きに捉え、安心した生活を送ることができるように、㈱鎌倉新書と「終活支援協定」を締結しました。今後、各種冊子の提供や、市民向けのセミナー等を通して、小諸市は、市民の皆さまの「終活」を支援していきます。



↑は、高齢福祉課の窓口などで配布しています。冊子には、終活に関して考えておくべきことがまとめられていたり、自分の考えを書き込んでおいたりすることができます。

←令和5年3月10日にステラホールで調印式が行われました。調印式の前には、職員等を対象とした終活セミナーが行われ、100名以上が出席しました。



【編集後記】

令和4年度最後のニュースレターです。地域ケア推進会議の進行やニュースレターの作成など試行錯誤をしながら過ごした1年間でした。来年度は今年度の反省も活かしつつ、小諸市の地域包括ケアを進めていきたいです！